

平成 27 年度 第 6 回河内長野市文化振興計画推進委員会

【日時】平成 28 年 3 月 2 日（水）午後 6 時 00 分～午後 7 時 00 分

【場所】河内長野市役所 6 階 602 会議室

【出席者】

<河内長野市文化振興計画推進委員会委員>

末延 國康・浅尾 広良・荒川 透・今村 尚美・来村 多加史・中脇 健児・寶楽 陸寛・
水落 学

<事務局>

（河内長野市教育委員会事務局文化・スポーツ振興課）

和田・橋本・森井・上田・東畑・西尾

（ランドブレイン株式会社大阪支店）

小笹

【配布資料】

- ・平成 27 年度 第 6 回河内長野市文化振興計画推進委員会 次第
- ・資料 1 河内長野市第 2 期文化振興計画（素案）に関するパブリックコメント意見一覧
- ・資料 2 「河内長野市第 2 期文化振興計画の策定について」の答申
- ・参考 奥河内暮楽部紹介冊子

<開会>

末延委員長

みなさんこんにちは。議事に入りたいと思います。まず、案件（１）パブリックコメント実施結果について事務局より説明を求めます。

<案件（１）パブリックコメント実施結果について>

東畑主査

資料１ 平成 27 年 12 月 15 日（火）～平成 28 年 1 月 14 日（木）まで、市内の主な公共施設及び市ホームページにおいて公表し、「河内長野市第 2 期文化振興計画（素案）」に対するパブリックコメントの意見募集を実施した結果、お寄せいただいた意見はありませんでした。

また、前回の会議以後、素案について変更点があります。パブリックコメント後の変更点について、ランドブレインより報告をお願いします。別紙「河内長野市第 2 期文化振興計画対応表」をご覧ください。

ランドブレイン小笹

（河内長野市第 2 期文化振興計画対応表について説明）

末延委員長

委員のみなさん変更点についてはよろしいか。特に 12 ページの 2015 が加わったとのこと。

では、河内長野市第 2 期文化振興計画として教育長に答申を行ってよろしいか。

一全会一致一

末延委員長

賛同を得た。長きに渡り、議論をありがとうございました。産みの苦しみだけでなく、育ちの楽しみがこれからある。事務局もありがとうございます。

では議事を事務局に一度戻します。

東畑主査

では、これから答申に移ります。末延委員長、教育長前にお願いいたします。

<案件（２）「河内長野市第 2 期文化振興計画について」（答申）>

一末延委員長より答申を行う一

東畑主査

続きまして、今後のスケジュールについてご説明いたします。平成 27 年度の委員会につ

きましては、本日が最終回です。平成 28 年度は 4 回の開催を予定しております。文化・スポーツ振興課において、第 2 期文化振興計画を実施計画を策定します。委員の皆様におかれましては、実施計画及び、進捗等についてご意見を頂戴したいと考えております。今後共よろしく申し上げます。

末延委員長

では、委員のみなさんから感想など伺いたい。

浅尾委員

内容に期待している。計画策定に携わっただけでなく、私自身も市民である。人が集まってくる環境になればと願っている。進捗状況についてもこれからしっかりみていきたい。

今村委員

答申を終えて感慨深いものがある。議論しながら計画が出来上がっていく様は、私の普段の仕事の場であまりなかったこと。また、いろんなジャンルの方との出会いもあり、良い経験になった。地域での繋がりにおいて、人とのつながりをもって、実行に向けて自分の日々の仕事にも生かしていきたい。ありがとうございました。

来村委員

最初の数回は見通しが見えていなかった点もある。会議の進行において和気藹々と進んだことは素晴らしいこと。私自身として、烏帽子形城の合戦の取り組みから河内長野市との関わりが深くなった。こういった活動の下支えになる計画ができよかった。

私にとっての副産物は、大阪芸術大学のすばらしい先生方とつながりを持てたことである。今後大学間の連携が生まれることを願う。

中道委員

私自身も市民である。計画にとっても愛着も生まれている。愛着だけではなく、点と線と面の循環が盛り込まれたことは委員のみなさんの熟慮の末である。循環の成果が文化、その文化のあるまち。私の研究してきたことが机上の空論ではなく、実践に繋がる言葉を頂いた。これからも、実施に向けてお役に立ちたいと思う。よろしく申し上げます。

中脇委員

最初の頃はとてもまじめでどうなることかと思っていた。寶楽委員と私がファシリテーターとして前で議論を可視化できたことは、諸先輩方の懐の深さだと感謝している。和やかに議論が進んだことがとてもありがたい。

また、政策においては連携など、縦割りではないところに踏み込んでいるので、これが少しでも市民のやりたいということに、行政も縦割りと言わずやりましょうということになっていただければと思う。よろしく申し上げます。

寶楽委員

必要性の議論に始まり、途中評価するグラフ作成もあり、文化の評価指標を最初に話し合えたことは本計画策定においても大きなことだったと思う。特に、30 ページにある河内長野型文化事業の図が、10 年間かけて成熟しているまちになれば良いと考える。また、私に関わるラブリーホール主催かわちながの世界民族音楽祭に活かすことができれば。また、私も 10 年すると 43 歳になる。その時にさまざまなプレーヤーや、本計画があるから 10 年間があると言いたい。私も動こうと思っている。行政もきちんと協働が生まれるよう動いてほしい。また、中脇委員と私のファシリテーションを受け入れていただきありがたい。河内長野の中でこういう委員会が生まれたら良いと思う。

水落委員

市町村における文化振興計画は 100 あれば、100 通り生まれると思う。みんな違ってみんな良いと思う。良い計画ができたので、他市町村に対してのお手本になる計画にしていきたい。

荒川委員

持論がありまして、文化と文明の違いがあると。文明はいつか廃れるもの、文化とは延々と続くもの。今回、本計画ができたことが、10 年と言わず、100 年、1000 年、人類が滅びるまで生き残ってくれると嬉しい。

ただ、小学校時代の夏休み、最初に計画を立てて、実施せずに夏休みの最後に徹夜していたということがある。そうならないように頑張りたいと思う。

末延委員長

最初に、役職を引き受けた際に私で良いのかという思いがあった。枚方市にて委員を務めたことを思い出し、私の住む河内長野市の文化芸術を高められるようにと引き受けた。

委員長として、どうまとめていくか、特に意見を出し合うことを大切にといい、会議に来たら必ず一言申し上げて下さいと伝えた。おかげさまで、試行錯誤しながら形ができ希望が生まれた。繋がること、次世代の子どもたちのこと、教育、福祉いろいろなものを包括した。事務局としてランドブレイン株式会社も助けていただき、またファシリテーターの 2 人もありがとうございます。笑いの中にも、まとめる際は厳しい意見を交わしたこともあります。河内長野型と来村委員のご意見で、新しい形ができた。具現化することが今後の課題である。それぞれの立場でどう具体化されるか、知恵を出し合い 10 年後まで出来ることを行いたい。宿命ではなく、運命を大事に、繋がりを大事に進めていきたい。

和田教育長

会議の過程には参加できていませんでしたが、委員のみなさまのお話を伺うと、激論のなかに割りと面白いものがあったのだらうと思います。教育委員会として答申いただきありがとうございます。文化振興には強い思いがあります。文化振興が、教育委員会の所轄

になった時、私が教育長になり1年目でした。社会教育で行うこと、文化振興で行うこと、生涯学習で行うことに横糸の強い繋がりを作ることを心がけてきました。

文化振興計画は河内長野においても重要な計画です。また、市町村の文化リーディングシティという立場で、文化振興計画をもとにひと、まち、都市に必要な取り組みがまとめられています。

同時に、第5次総合計画が平成28年4月に始まります。総合計画では、文化振興は重要な柱として教育委員会にとって位置づけています。

また、文化振興は大きな意味で、文化とスポーツの2つの柱があります。文化振興とスポーツ振興を大きな柱の中とし、生涯学習を進めていきます。スポーツ振興計画も策定準備を進めています。平成28年4月からは、河内長野市文化振興財団がラブリーホールとキックスを同時に指定管理します。文化振興計画に基づき市内全域をカバーしていきます。ラブリーホールが文化芸術の拠点としてこれまでの取り組みを進めていきます。また、キックスは生涯学習における文化活動を担います。まさに、文化振興計画に定める、繋がりという部分をキックスを中心に担います。また公民館における文化振興も一体で進めていきたいと思えます。

まちの活力を高める、人づくり、まちづくりに十二分に活かしていきたいと思えます。本当にありがとうございました。

末延委員長

教育長ありがとうございました。委員のみなさん、ご意見他にありますか。

寶楽委員

次の期に向けて投げかけたいことがあります。26ページ文化に関する課題を丁寧に議論してきた。これをベースに、河内長野型文化事業を作っていくことになる。行政のみなさんへのお願いでもあります。まずは、庁内の職員が河内長野型文化事業を知っている状況がない限り、循環が完了しない。認知されるような、文化芸術を担う団体と対話の場を持つなどきっかけを作してほしい。

また、課題の中に文化に日常的に接していない市民が70%いるなど、はっきりと数字になって出ているものを今後、42ページにある計画の進行管理に活かしてほしい。そのためには、次の委員会にて、短期、中期、長期でどこから解決していくか方針だけは示してほしい。

末延委員長

情報の可視化について、どう伝えるか進めるかは課題。情報を伝えて認知することが重要である。

これで第6回河内長野市文化振興計画推進委員会を終了する。

<その他>

東畑主査

ご議論ありがとうございました。最後の情報提供として、實楽委員よりご説明をお願いします。

－實楽委員より奥河内暮楽部についての取組み紹介（別紙資料参照）－

以上